



せいひ会だより

2010年(平成22年)
7月1日発行
<第123号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/

行ってきました

花菖蒲 大村公園

観てきました

そしてしっかり食べてきました



6月10日大村公園に行ってきました。
およそ30万本(西日本一だそうです。)の花菖蒲は壮観でした。
ジメジメした梅雨のなかで、思い出すと心もなごみます。
おみやげの定番「梅ヶ枝餅」もしっかり買ってきましたよ。

6月の行事

- 2・16日:書道教室(元亀)
- 10日:大村公園花菖蒲バスハイク(通所・GH)
- 12日:誕生会(元亀・通所)
- 13日:芋さし(GH)
- 15日:歌の発表会(風和)
- 18日:GH運営推進会議
- 20日:父の日(全事業所)
- 22日:消防総合訓練(丘の家)
- 25日:消防通報訓練(風和)



7月の行事予定

- 陶芸教室
- 七夕(全事業所)
- そうめん流し(通所・丘の家・GH合同)
- 誕生会
- 書道教室
- 避難訓練(元亀・通所・丘の家・GH)
- 消防総合訓練(風和の里)



☆6月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



松隈 良子様

村上 万作様

志田 信子様

福本 輝次様

浅間 ヒサ様

橋口 サツ様

木村 キヨ様

岩永 ミネ様

井田 一郎様

中島 貞子様

松山 菊枝様

今回は元亀の里・岩永 ミネ様にお話を伺いました。

昭和2年、西彼町白似田に4人兄弟として生まれる。両親は農業を営み、芋や南瓜など色々な野菜を作っていたそうだ。子供の頃は近くの海で泳いだり、家の手伝いや弟・妹の面倒を見ていた。「海は綺麗でよう泳いだ。泳ぎも上手やったよ」「畑で芋ばいなわされたばってん、そりゃー重たかのなんの」とのこと。また小学校の頃には、同学年でただ一人健康優良児の賞を頂いたそうだ。20歳過ぎると地元の男性と結婚する。米・キャベツ・キュウリ・スイカ・南瓜などを栽培し生計を立てていた。「百姓は思うたごとお金は取れんし大変やったばってん、苦勞したとは思うたらん」「野菜ば作って収穫するとの面白かった」そうだ。夫は早くに亡くなり、その後は子供達が農業を手伝ってくれた。

現在、元亀の里入所中。「ご飯は美味しかし、職員さんのなんっちゃしてくるっしょかよ」とのこと。「誕生会のあってね、寿司の美味しかった。昔は麦飯ばっかいやったけんね」。また、「こないだ子供たちの来たけんご飯の美味しかった言うたら、ご飯ば食べれば長生きするたいって言われたとばい」と話されていた。リハビリには毎回参加され、自分のペースでボチボチと歩かれている。腰を温めながら田んぼや山を眺めることを好まれ、「今は特に何もしどうなか」「腰も痛うなかし、ゆっくりいしとこうかね」とリハビリ室からの景色を眺められていた。



ゆっくりと過ごしてください。お誕生日おめでとうございます。

「Vitality Space」は、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味が込められています。その活動を紹介するコーナーです。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



うたの時間

娘来て
楽して
帰ったが
後姿に涙
出る酒井ミネ

明けやらの
窓に小鳥の
計はさえずり
朝の要らない
作中和子

明るい朝 青空
気持ちも軽く
身も軽く
本本誠一

大地
山本一

通所 山本一

大地
山田実

元亀 山田実

夏空
海田芳勝

風和 濱田芳勝

つばめ
本村ムツ子

丘の家 本村ムツ子

の伝美統
田中アキ

風和 田中アキ

人の短を
言うことなれ
己の長を
説くことなれ
高松恵美子

通所 高松恵美子

グループホーム
今月の塗り絵作



無限 寿限無
H23.1 Open

<http://seihikai-jugemu.doorblog.jp/>
毎日(?)更新中!

H22.5.12 H22.6.17

父の日(6月20日)
各事業所で思考を凝らした催しを行いました。風和の里では「居酒屋」がオープン!! もんじゃ焼きとビールで至福の時間を味わっていただきました。元亀の里では、なにやら怪しい動きが..「なつかしの映画」一生懸命見はまっています..。よくよく見ると、なんと映画は「日活ロマンポロ」でした。たこ焼きを食べる動作も止まっていました。



GH梅ちぎり(6月6日)
敷地内にある梅の木にたくさんの梅の実が生まれました。皆でがんばって収穫し、ご覧のとおり。早速、梅干しを作る為に、しその葉を注文しました。



丘の家・消防総合訓練(6月22日)
丘の家の入居者、通所利用者にご協力いただき消防訓練を行いました。



ケアマネ 敏美の独り言 <ワールドカップサッカーを観て思うこと>



今、まさに大会開催中であるワールドカップサッカー。「我が母国日本」も奇跡ともいえる勝利を手にした。たかがサッカー(されどサッカー)であるが、観戦して思うことがある。やはり勝負の世界であるが「強い者・上手い者」が勝利を手にするわけではないという事。我が日本代表も決して強くはないが「勝利」を手にし、見事決勝トーナメント進出を果たした。なぜか?相手のコンディションもあるだろうし、相性もあるだろう。

日本の、とある選手が言っている「下手くそは下手くそなりの戦い方をすると!!自分たちを「下手くそ」と言っているのである。そこに「勝機」があるのだろう。下手くそを自覚している人間は「とにかく一生懸命」である。逆に上手い人間は「油断」が生まれる。対戦相手を格下と思った時ほど「油断」が生まれる。

自身も高齢者福祉に携わってかなりの年月が経っていて、場数というか経験を数多く積み上げてきたつもりである。その自負はあるが、そこに「おごり」がないか?これからも「おごらず、油断せず」高齢者の為に「出来ることを一生懸命」やっていきたい。「福祉専門出身」ではない異端児の自分ではあるが、これからも「下手くそなりのやり方」で高齢者を微力ながらも支援していきたいと思った今月でした。

げんきに亀がやってきた。(6月10日)

朝、バイオパーク前あたりを車で出勤途中、道端の歩道に「亀」らしきものを確認するも、それほどこのあたりでは珍しくもないので、「亀?」と思いながら通りすぎる。

制服に着替え、事務所に入ると私の机の上に、なにやら発泡スチロールの箱が置いてある。なんだろう?とそのフタを開けた瞬間、飛び上った。なにやら動くものが...。「亀だ!!」それも出勤途中に見かけた、あの「亀」である。なぜ、ここに?事務所内の笑いで、すぐに察しがついた。道端の「亀」を拾ってきたのは...

早速、中庭の池へ...。「生き返った!!」と言ったかどうか判らないが、水中を勢いよく泳ぎだした。

1~2時間くらいしてから、職員がなにやら騒いでいる。池の周りに、職員や利用者の姿が...。そして、ひとりの職員が私の元に走ってきた。「たまご、たまご、生み始めました!!」「たまご??」

「亀」の産卵が始まった。地面の土を、後ろ足を交互に動かし、器用に掘っており穴は意外と深い。そして続けて生み始めた。「すごい!はじめて見た!!」歓声が上がった。「まゆ」みたいな「たまご」が合計9個。産み落とした「たまご」にきちんと土をかけると、何事もなかったように池に入ってしまった。産卵ご苦労様。いったい、いつふ化するのだろう...?

支援相談員 Y

